

大坂日々新新聞

二百五十
三号



紀及周叁見村
濱田某の娘

少年愛

本年十九才心潔

性質と風

柳のうらやう

あつてさういふ

さういふ國小有

てもつくまう

尻の早くも大坂の

今木新田某へ奉

するより又直に

仲人等の夫婦中

書の幾重とも

さういふさういふ

しきつ小其へ

追出さんと

近辺の若者の

小舟とひそ

もこぞ出

さういふの

さういふと

さういふや

酒さういふ

端端まり

もちぢりも
過ぎ食ひん
さういふの
つの小千島新田葎の中へ
追りかゝりて夜をりりし
わが身を名ひハ先こぞ
柳櫻記

川傳 影福

